

「チーム南小」職員紹介 No.1

* 敬称略

 <p>てつか ともこ 手塚 智子</p>	<p>陸上交歓会8連覇中の大宮北小から転入した養護教諭の手塚智子先生。子どもたちの健全なる成長のために、各種健康診断を計画立案したり、感染症等の予防をしたりしています。子どもたちにとって、体調が悪くなったり怪我をしったりしたときに、すかさず助けてくれる保健室の頼りになる先生です。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>小学生の頃、土曜日の放課後は学校でお弁当を食べ、友達と校庭で遊んでいました。そこに、トトロのような先生が入ってきて、石蹴り（ケンケンバ）で遊んでくれました。子どもにとって一緒に遊んでくれる先生は最高です。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>幼稚園時代は恥ずかしがり屋。小学校時代は真面目でおとなしく、クラスでいじめられていた友達を、仲良しグループに誘える優しい子どもでした。中学・高校時代は親との衝突が絶えない反抗期でした。</p>
<p>おまけ</p>	<p>小学1年の時、給食で出る脱脂粉乳のミルクが大嫌いでした。「薄めた方が飲みやすいよ。」と言われ、せっかく頑張って飲んだのに、水で量を増やされた時には、涙目に。5年生からやっと牛乳になり給食が楽しくなりました。</p>

 <p>のだ とみお 野田 富夫</p>	<p>本校・校歌の最後にある「理想の子ども」を育てるために、授業をどのように組み立てていったらいいのか、どのような学校行事や教育活動をどのように組んでいったらいいのかについて、毎日頭を悩ませていたのが、教務主任の野田先生です。野外キャンプのプロで、職員室でも飯ごう炊飯しちやいます。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>その先生はロードバイク（愛車）を格安で譲ってくれました。その昔は日光いろは坂も自転車で登っていたそうです。そんな文武両道・頭脳明晰・才色兼備でありながら誰にでも分け隔てなく優しい先輩が私の若き日のあこがれでした。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学校の時の「学びのすがた」には、「落ち着きがありません」「責任感がありません」「本を読みましょ」と書かれる子どもでした。その後高校生で本が好きになり大学生で責任感を身につけました。ただ落ち着くのはいつでしょう？</p>
<p>おまけ</p>	<p>赴任する学校に行った時。作業着姿の年配の方が草取りをしていた。私は元気よく「こんにちわ」と言いながら職員室へ。するとそこに先ほどの年配の方が作業着を脱ぎながら「校長の〇〇です。さっきは元気なあいさつありがとうございます」と。</p>

 <p>ふせぎ まりこ 伏木 麻理子</p>	<p>3月まで、栃木市から片道2時間かけて東京都北区立堀船（ほりふね）小学校に勤務。この4月に本校に転入しました。5年1組の担任（学年主任）です。5年生が、来年立派な最高学年になるように、2組の坂本先生と力を合わせています。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>中学校の先生です。厳しさの中につつまこまれるような温かさのある担任（男性）の先生でした。いつでも子どもたちと共に活動していて、休んだ仲間のかわりに給食当番の仕事を白衣をビチビチに着て。その姿、今でも忘れられません。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学校の頃は、一輪車となわとびで遊ぶのが大好きでした。高学年の時には、長なわ2本を使ってとび「ダブルタッチ」に挑戦しました。5分以上ダブルタッチでサーカスのように、とび続けることができますよ。</p>
<p>おまけ</p>	<p>友人に「ダイビングのライセンスをとろう！」と言われ、海に。浅い所で練習するとき、一瞬パニックに。ダイビングの先生にしっかり教えてもらい、海底まで潜って見た光景はとても素晴らしく感動しました。太平洋のど真ん中でした。</p>

 <p>きくち けいじょう 菊池 敬丈</p>	<p>栃木市から配当される学校予算を子どもたちの教育のためにつかったり、我々教職員が働きやすい職場づくりをしたりしているのが、主任（学校事務職員）の敬丈先生です。ドラムを叩かせたら、「X-JAPAN」の「YOSHIKI」の次の次の次くらいの腕前。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>高校3年生の担任の先生がいて、今の自分があると思います。第1志望の大学に落ちて、浪人しようかどうか迷っていたとき「受かった大学に行きなさい」と。「この男は浪人しても勉強しない」私の本質を見抜いてくれた先生。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>昔はとにかく目立ちたがり屋でした。小学生のときは全校児童の前で劇を披露したり、中学生～大学生ではバンドを組んでたくさんライブをしたり……人前に出ることが好きだったようです。今は逆に人前にでることが嫌になりました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>ある日、母が突然「ディズニーランドに行こう」と。いざ入口まで来たところで、入場料が足りないことに気づきました。代わりに、母は近くの水族館（葛西臨海公園の水族館だったかな？）に連れて行ってくれました。</p>

 <p>わたなべ みゆき 渡辺 美由紀</p>	<p>この4月に栃木市立家中小学校から転入しました。学級担任が授業を進めている中で、子どもたち一人一人をサポートする学校支援員の先生です。全学年の子どもたちがその対象ですが、1学期は低学年の子どもたちが、より良く学習したり生活したりすることができるように、適切に支援しています。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>高校時代・部活動顧問の先生です。3年間、私の名前を「まゆみ」と間違えて呼んでいました。その先生の口癖は「チャレンジしろ!!」。子どもたちにも「チャレンジしよう」と伝えています。その先生、今でも私を「まゆみ」と。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学生から始めたミニ・バスケットボールは、中・高・短大・社会人とずっと続けています。学生時代は、練習帰りにチームメイトとパン屋さんやラーメン屋さんに寄って、遅くまでしゃべっていて、よく親に怒られました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>我が家には、「ヒョウモントカゲモドキ」の「ラム吉君」というヤモリがいます。「ラム吉君」のエサは生きているコオロギです。しょっちゅうコオロギがかごから逃げます。すると数日後、決まって「ゴキブリだ!」と家の中は大騒ぎ。</p>

 <p>なかむらかずゆき 中村 一幸</p>	<p>主に複数学級の算数授業で、中心になって学習指導をしたり学級担任の学習支援をしたりしています。また、アレルギー食品対応などの学校給食に係る業務や、「小さな親切」運動に係る業務も担当しています。南タイムの体力づくりには、校庭から中村先生の子どもたちを応援する声が響き渡ります。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>自分は絵が下手です。小学2年生の頃、遠足の昼食場面の絵を描きました。コメントに「大きなおむすびがおいしそう」と。わずか数ヶ月だけの恩師で名前すら覚えていませんが、そのコメントは私の心に鮮やかに残っています。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学生の頃、夏休みは朝5時から空き地で野球の練習！子どもだけの練習でした。夏の大会で1回戦を突破しました。奇跡の勝利。永遠に時間が続くと思えた小学生の夏。他に虫採り、ザリガニ釣り、自転車遠征、一日中遊び続けました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>買い物をしてた時、後ろから誰かが。振り向くとかつての同僚。名前が思い出せません。何とか話を合わせて、名前を忘れたことがばれないように。別れ際、「じゃあね、田中さん!」と言ってその方は帰りました。ということは・・・</p>

 <p>はっとり のりこ 服部 紀子</p>	<p>「職員室の担任」と言われている服部教頭先生。職員室の仲間全員にいつも気を配っています。また、学校や子どもたちの安全を守り続けているのも服部教頭先生。活動休止になるジャニーズ・嵐の熱狂的な大ファンの人。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>どんな子も優しく温かご指導で穏やかな表情になる。落ち着いた気持ちで遊びに没頭する。尊敬の気持ちを含めて「猛獣使い」と呼ばれていた先生です。この先生のお姿にあこがれ、この先生のようになりたいと思いました。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小学校時代は、石蹴り・ゴム跳び・ドッジボールが大好きでした。高学年まで男の子に混じって毎日のようにドッジボールで遊んでいましたが、いつのまにか高学年の子供たちに勝てなくなってしまいました。</p>
<p>おまけ</p>	<p>娘二人を連れて名古屋に行った時のこと。小山駅から新幹線で東京駅に。「のぞみ」に乗るはずだったのに。ホームに停車中の新幹線を見て焦りそれに乗車。「こだま」でした。名古屋までは親子で立ち席。今でも乗り換えは苦手です。</p>

 <p>とみた のりこ 富田 紀子</p>	<p>毎月「とよかんだより」を発行しているのが学校図書館事務員の富田先生。本校の子どもたちが読書に親しみ心が豊かになるために、図書室を整理したり読み聞かせの皆さんと連絡を取り合ったりしています。何を隠そう、日本のロック・ボーカリスト「氷室京介」の大ファン。</p>
<p>今まで出会った先生の中でこの先生は・・・</p>	<p>以前、私が勤務していた学校の校長先生の言葉。「失敗を恐れて何もしないよりは、とりあえずやってみよう！何かあったら責任は私が取るから。」とても心強くなるお言葉でした。</p>
<p>こんな子どもでした</p>	<p>小さい頃から超恥ずかしがり屋で、いつも母の後ろに隠れているような子でした。そんな私が、中2でピアノの発表会で、舞台上でたった一人でピアノの演奏を。スポットライトを浴びて弾きました。今思い返すとよく頑張ったなあと。</p>
<p>おまけ</p>	<p>20代前半の頃、東京・池袋で財布をすられてしまいました。助けを求めた交番の警察官は、全く事務的な対応でしたが、すられた店の店長さんが、帰りの電車賃を貸してくれました。いろいろな人間と出会った一日でした。</p>